

秋田県立**北欧の杜公園**
スキーオリエンテーリング大会2012
(兼 北欧の杜ウィンターゲーム2012 第2戦)

2012年2月19日(日) 秋田県北秋田市

主催

北欧の杜ウィンターゲーム実行委員会

主管

日本スキーオリエンテーリング研究会

問合せ先

北欧の杜ウィンターゲーム事務局 (金森)

住所 秋田県北秋田市下杉字狐森18-3

電話・ファクシミリ 0186 - 78 - 3541

電子メール hareruya_hitto@ybb.ne.jp

日本スキーオリエンテーリング研究会 (山田)

電話 090 - 7060 - 5238

電子メール skioforum@gmail.com

大会会場

秋田県立北欧の杜公園 (秋田県北秋田市)

集合場所

秋田県立北欧の杜公園パークセンター

(駐車場は中央駐車場をご利用ください。)

競技日程

2012年2月19日(日)

09:00 受付開始

10:30 一斉スタート

12:00 地図交換所閉鎖

12:30 ゴール閉鎖

13:00 表彰式

競技規則

2000年5月27日 日本オリエンテーリング協会制定

日本スキーオリエンテーリング競技規則による

地図

2009年日本スキーオリエンテーリング研究会作成

ISOM2007準拠 A4サイズ

縮尺 1:7,500 等高線間隔 5m

クラス

クラス分けはありません。

特別ルール

地図交換により、最大で6周回するコース設定で、次により順位を決定します。

周回数が多い選手が上位

周回数が同じ場合は、所要時間が短い選手が上位

競技時間1時間30分を超えて、新たな周回に入れません。

周回数が2周に満たない選手は失格となります。

記印方式

Emit社製ノーマルパンチ・Eカード使用

競技エリアの状況

本テレインは秋田県内陸北部の標高85m前後に位置し、高低差はほとんどありません。

2008年度全国植樹祭が開催された北欧の杜公園の園路を中心に構成され、広大なオープンエリアと森林部分が存在します。森林部分のほとんどはスギ林です。

用具のレンタル

必要な用具をお持ちでない方には、主催者がレンタルを行います。受付にてお申し込みください。

Eカード 300円

簡易式マップホルダー 200円

スキー用具は北欧の杜公園パークセンターでレンタルできますが、サイズや数に限りがありますので、ご了承ください。

申込方法

北欧の杜ウィンターゲームのホームページから必要事項を入力する、あるいは下記「資料請求・申込先」へ郵送、電子メール、ファクシミリ等でお申し込みください。

北欧の杜ウィンターゲーム2012ホームページ(近日更新)

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~wintergame/>

資料請求・申込先

北欧の杜ウィンターゲーム事務局(金森)

住所 秋田県北秋田市下杉字狐森18-3

電話・ファクシミリ 0186 - 78 - 3541

電子メール hareruya_hitto@ybb.ne.jp

スキーオリエンテーリングが初めての方へ

スキーオリエンテーリングとは？

「オリエンテーリング」は、地図とコンパスを頼りに、森の中に設置された「コントロール」と呼ばれるチェックポイントを通過して、ゴールするまでの時間を競うスポーツです。

そして、冬にスキーを履いて行う「オリエンテーリング」が「スキーオリエンテーリング」です。

北欧やロシアで人気の高いスポーツで、国際オリエンテーリング協会 (IOF) を中心に、冬季オリンピックへ正式種目としての参加を目指しています。

日本代表も1990年代から継続して世界大会に選手を派遣しており、2009年にはアジアで初めて北海道で世界選手権が開催され、その注目度は上昇中です。

現在の日本代表選手は、高校卒業以降に競技を始めた選手がほとんどで、底辺の拡大が課題となっています。

これをきっかけに、あなたも世界を目指してみませんか？



ルールは？

スタート直前に左図のような地図が渡されます。

スタート、 が「コントロール」(チェックポイント)、 がゴールです。現地では、 の位置に「フラッグ」と呼ばれる白とオレンジ色の旗が設置されています。

から、 を1番から順に通過し、 までの速さを競います。

の間は、基本的にどこを通っても自由です。

道具は？

スキーはスケートニング用を使用するのが一般的です。

そのほか、地図を胸の前に固定する「マップホルダー」や、コントロールを通過したことを記録する「Eカード」が必要になります。

競技のポイントとは？

地図には、いろいろな情報が描かれています。例えば、圧雪された広い道は緑の実線で、スノーモービルで踏まれた狭い道は緑の破線で示されます。

これに等高線などの情報を組み合わせて、一番早いルートを選択し、正確に進む読図力が必要です。

もちろん、基本的なスキー技術も重要です。